

2017年11月29日

文部科学大臣	林 芳正様
文部科学省	
官房長	藤原 誠様
生涯学習政策局長	常盤 豊様
男女共同参画学習課長	中野理美様

北京 JAC（世界女性会議ロビイングネットワーク）
代表 船橋 邦子
〒113-0033
東京都文京区本郷 2-27-2 東眞ビル 3F
pekinjac@gmail.com FAX:03-5689-6828
<http://pekinjac.or.tv/>

文部科学省の組織改編に伴う総合教育政策局に「男女共同参画学習課」を存続させ、 男女共同参画推進の強化を求める要望書

私たちの団体は、1995年第4回世界女性会議を契機に「北京行動綱領」を実現するために発足し、20年以上、我が国の男女共同参画社会の実現・女性差別撤廃に向けて取り組んできました。全国に9カ所ある地域コーカスの女性たちは、地域における男女共同参画の推進にも努力を続けています。

私たちの活動の背景には、国連を中心とした世界の動きに呼応した文部科学省、とりわけ生涯学習局の男女共同参画に対する学習機会の保障や地域のリーダー育成など積極的な政策の推進があったことに、感謝し、敬意を表すものです。

しかしながら日本の男女格差は、世界経済フォーラム（WEF）による2017年11月2日付の「世界男女格差報告書2017」によれば144か国中114位と、昨年よりさらに順位を下げた現状を鑑みると、男女共同参画政策のより一層の取り組みが求められるところです。

ところが、このたびの組織改編のなかで、男女共同参画学習課の存在が消えるという事態に、わたしたちは大きな危惧を抱かざるを得ません。

男女共同参画社会の推進は、SDGsにも示されているように人権に基づく持続可能な社会の鍵です。

このような国際的な流れに逆行する今回の再編を危惧し、下記の要望をいたします。

— 記 —

男女共同参画の推進は、すべての差別解消に向けての鍵となることから、
文部科学省における総合的・横断的な政策実現のために
「男女共同参画学習課」を存続させること。
さらにその強化をはかること。